

「古代歴史文化協議会」発足に当たっての協議会会長コメント

1. 本日、「古代歴史文化協議会」が14県の参加により設立され、日本の古代の歴史や文化に関し、共同の調査研究がスタートすることになりました。

2. 当面の共同研究のテーマは、「古墳時代の玉類」とすることとなりました。

勾玉などの玉類は、日本各地で作成された美しい装飾品であると同時に、各地の支配者の権力を象徴するものであります。

3. この調査研究は今後3年程度の期間で進めていきます。

その成果は毎年、講演会やシンポジウムなどの形で発表し、また共同研究終了後には、共同の展覧会の開催などを検討していく考えです。

4. こうした多くの参加県の共同作業により、日本の古代世界の成り立ちなどについての研究がさらに進んでいくことを期待しております。